

病気や老化の根源「活性酸素」を撃退

癌・糖尿病・リウマチ・動脈硬化・アレルギーといった生活習慣病は、別名活性酸素病とも言われ、体内の過剰な活性酸素が細胞・組織や免疫機能を傷つけることで起こる病気です。

酸素は、私たち人間が生きていく上で必要不可欠である反面、鉄が錆びてボロボロになるのも酸素の強い作用、ケーキの箱に酸素吸収剤を入れるのもケーキが酸素によって傷むのを防ぐため、そんな強い毒性を持っているのです。

強い毒性を持った酸素を活性酸素と呼びますが、活性酸素は胃潰瘍や胃がんの原因といわれるピロリ菌を攻撃するなど大変有益な仕事もしています。しかし現代社会の精神的ストレス・喫煙・偏食・過度の飲酒などの悪い生活習慣や、排気ガス・紫外線などの生活環境は必要以上の多量の活性酸素を生み出し、そうして生まれた過剰な活性酸素が老化(=酸化)を進め、病気への危険性を高めるのです。

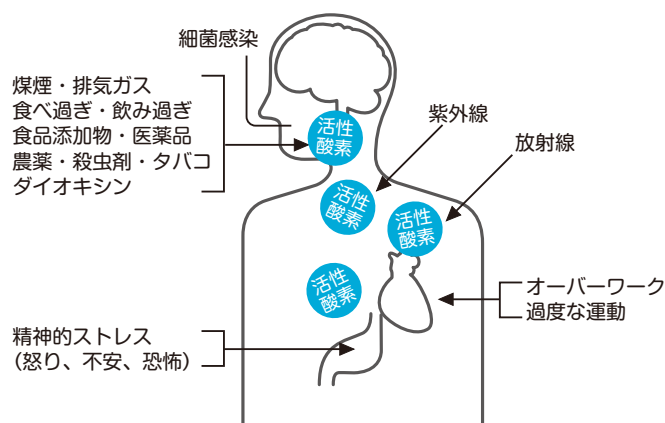
私たちが若くて健康な時には活性酸素を無毒化する抗酸化物質が活発に働き、たとえ過剰な活性酸素が生まれても、すぐに病気へと進むことはありません。それが年をとるにつれ40代頃から体内の抗酸化物質は徐々に減少しはじめます。そこに悪い生活習慣や生活環境によって多量の活性酸素が発生すると、私たちの体は過剰な活性酸素を処理しきれなくなり、さまざまな生活習慣病が発

症し、痴呆・しみ・しわなどの老化現象が進んでいきます。

ラドン吸引によるホルミシス最大の効果は「抗酸化物質が増加し、加齢や悪い生活習慣で弱った抗酸化機能が回復する」こと。

病気や老化の根源、活性酸素を無毒化することで、今や病気の9割を占めると言われる生活習慣病の進行や老化(=酸化)を抑え、元気と若々しさを取り戻す究極の若返り健康法です。

活性酸素が必要以上に発生する条件



ラドン吸引によるホルミシス効果

ホルミシスは、心身が爽快になる マイナスイオン、ウォーキングとは兄弟。

- 過剰な活性酸素を無毒化する抗酸化物質(SOD・カタラーゼ・GPx)を増加させ、体の抗酸化機能を高めます。
その結果、生活習慣病や老化の原因となる過酸化脂質などを減少させ、新陳代謝を高めるなど、健康増進の可能性や若さを保つ効果があります。
- 免疫やホルモン分泌など生体調整機能が高まります。
- DNA損傷修復機能の高まりや、細胞自爆機構(アポトーシス)の活性化により癌を含む生活習慣病の予防と症状改善の可能性がります。